

1 開会 進行：生涯学習課藤原係長

2 あいさつ 大北教育長
池田委員長

*資料の確認 藤原係長より説明

3 議事 令和4年度事業の実績及び令和5年度計画案について

- | | |
|------------------|----------------|
| (1) 生涯学習課 | 河端課長より説明 (10分) |
| 公民館 | 金子館長より説明 (5分) |
| (2) 文化・スポーツ課、美術館 | 金井課長より説明 (9分) |
| (3) 教育センター | 橋本所長より説明 (4分) |
| (4) 図書館 | 伊藤館長より説明 (5分) |
| (5) 人権推進課 | 平井課長より説明 (5分) |

【質疑応答】(30分)

(池田委員長)

- ・以上、それぞれの所管課から説明を受けた。ここで質問や意見を伺いたい。

(中西委員)

- ・不登校のことと、先日参加した「ひきこもりを考えるつどい」に参加した時のことでもよろしいか。
- ・令和3年度の不登校数として、小学生は20名、中学生は60名ということで、兵庫県では小学生は2,800名、中学生は6,700名と、県と三木市を比べると人口規模は異なるが、三木市にも不登校者がいることを伺った。
- ・このつどいの開催者自身も不登校であったこともあり、不登校の子どもを持つ保護者の方など、当事者の方が多く参加されていた。その方々が、当時の思いや、その時にこうしてほしかった、こんな環境があればよかった、などという意見があった。
- ・当事者として、声を掛けられるタイミングなど、心配されることはありがたいが、余計に辛くなることもあれば、社会とどこかで繋がってほしいという思いもお持ちのようであった。
- ・フリースクールのような、学校に行きたくてもいけない子どもたちが、少し場所を変えてでも行く勇気を出せる場所があればありがたいという声もあった。
- ・三木市も、不登校対策を色々としていただいているが、エフエムみっきいやユーチューブなどを活用して、もっと発信力を高めていただくことで、困っている多くの人に情報を届けていただきたい。
- ・不登校に関して、三木市はどのように考えているのか。

(橋本所長)

- ・教育センターでは、すべての不登校者について把握しているわけではないが、ご指摘の

とおり、三木市でも不登校数は増加傾向にあり、学校としても大きな課題としてとらえている。

- ・新たな取組としては、中学校を中心に、教室には行けないが、学校には来ることができる生徒に対して「別室指導（登校）」ということをしている。
- ・教育センターには「みっきいルーム」という適応教室があり、そこに通っていた子どもが学校の別室に行くことができるようになったという事例も少しずつ増えてきている。
- ・また、学校とは異なる居場所として、フリースクールに通う子どもたちもいて、市内だとエスペースというフリースクールくらいだと思う。
- ・なかなか家から出られない子どもに対しては、家庭訪問などを行うことにより、社会とのつながりづくりをしている。
- ・学校だけに限らず、何かと繋がることで登校に繋がればよいし、登校に繋がらなくても後々の社会参加に繋がってくればよいと考えている。
- ・あと、家庭支援ということで、家庭訪問をさせていただいているご家庭を対象に、保護者会を隔月で実施している。
- ・みっきいルームの記事を、先月の広報みきに掲載させていただいたところ、こんなことをやっていたのかというような声をいただいたため、定期的な情報発信は非常に大事だと思った。

(西田委員)

- ・昨今、老人クラブが高齢化により解散される団体が多くなってきている。
- ・市民協議会の活動の中に「花いっぱい運動」というものがあるが、青山地区でも同様のことをしており、老人クラブのメンバーが交代で水やりなどを行っている状況である。
- ・しかしながら、高齢化により、花の世話をする人間が減ってきている。もし可能であれば、公民館で花の水やりなどをしてもらえないか検討してほしい。
- ・人の目の垣根隊について、25日に感謝状をいただけることとなっている。青山地区でも登録は多いが実際に活動されているのは減ってきている。
- ・感謝状をいただける方として、8名の推薦をもらっているが、これまで表彰基準を伺っていなかったもので、あの人は推薦されていないな、などといった意見もあった。基準を明確にお伝えいただければ、その方々に説明できていたのになと思った。

(國井委員)

- ・人の目の垣根隊への感謝状の基準を聞かせてもらえればと思う。
- ・人の目の垣根隊の意見交換会が年1回しか開催されていないが、少ないように思う。年2回程度開催してもらえればと思う。また、意見交換会後のフォローがされていないように思う。垣根隊から出た意見などは、ホームページなどに公開しているのか。

(橋本所長)

- ・表彰基準については、5年以上活動されている方を対象にしている。
- ・意見交換会については、年末に各学校を回っている。年2回開催については、青少年センターと検討させていただく。
- ・垣根隊からいただいた意見は、青少年センターで解決できるものはさせていただき、他

課や警察と協議が必要なものは情報共有するなどしているが、その後の情報公開については、回答できるものとそうでないものがあるため、今後検討させていただく。

(兼貞委員)

- ・学校で不審者が出没したり、スクールバスなどで置き去りがあつたりというニュースがよく報道されるが、三木市としてはどのような対策をされているのか。

(藤原係長)

- ・学校、教育関係のこととなれば、どのような対応をしたのか詳細はお答えできない。
- ・例えば、幼稚園や認定こども園においては、バスの置き去り事案について、民間企業と連携し、バスに子どもたちが置き去りにならないような実証実験を行ったところである。今後もそのような事案が発生しないように、継続していくものと思う。
- ・不審者等については、ひょうご防災ネットのメールにより皆さんに配信させていただくことで周知し、不審者を見つければ警察に通報するよう注意喚起させていただいている。

(小紫委員)

- ・学校現場で言うと、夏休み期間中に警察の指導のもと、不審者に対応する研修をしており、さすまたの使い方や手をつかまれたときの対処方法などを教えていただいた。
- ・2学期には、不審者対応の避難訓練をした。不審者役の教員、それを対処する教員など役割分担をして、子どもたちの安全を守るように努めた。

(河端課長)

- ・バスのブザーの件について、国の基準ができたようである。その基準に沿ったブザーを設置することで、バス内に子どもを置き去りにしないようにしていくこととなっている。
- ・運転手がバス内の点検時にボタンを押すようになっており、それをしていなかった場合に、点検していませんといったアナウンスがされるようになる予定である。

(國井委員)

- ・学校内の防犯カメラはすべて設置済みか。

(橋本所長)

- ・設置済みである。

4 その他

藤原係長より説明 (2分)

- ・令和5年度東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会事業予定について
- ・令和5年度兵庫県社会教育委員協議会関連日程予定について

5 閉会

あいさつ

岸本副委員長

～午前 11 時 20 分終了～

記録者 生涯学習課係長 藤原